

稲生小改築、本年度6教室

2カ年継続で59年度完成

稲生地区
市政こん談会

公民館、保育所改築も要望

市政の動きを知り、また地区のかかえる問題について話し合おう
—と、久し振りの市政こん談会が六月十五日、地元住民約百人を集め稲生地区公民館で行われました。市からは小笠原市長、鈴江教育長、関係課長らが出席、また地元出身の橋本、竹内両議員も加わり熱心に討議を行いました。

まず市長が、「財政再建、空港問題、同和対策を三本柱に市政に取り組んできましたが、ようやく

空港問題が山を越した状態です。これからは、この三本柱の他に教育問題が大きな課題であると考えています。

空港ジェット化とともに、高速道路建設など本市は空と陸の玄関となりつつあり、それに対応した農業の育成、さらに無公害工業の誘致なども考えていく必要があります。

一方、市民からは文化施設の要望も多いようですが、まずは小学校、保育所、公民館などの施設の充実に努めてゆきたい」とあいさつ、さっそく前もって取りまとめた議題について話し合いました。

討議内容

○長年の懸案であった稲生小改築が、今年から取るかになることになったが、二カ年計画ということで、大篠小のように美観を損なうこと

のないような建築を、設計の段階で考えて欲しい。

●今年から二カ年の改築計画で、五十八年度に特別教室三、普通教室三、五十九年度は特別教室三、普通教室三、給食棟を作る予定で

設計についても、今までの「勉強する場」という考えから、「豊かな心を育てる場」という考えに立つて、取り組みたい。

○小学校に隣接する保育所改築はいつごろに。

●現在、十四の市立保育所がありますが、改築が望まれているのが八保育所で、その中でも一番急がれているのが大篠保育所です。稲生保育所は、順位で言うところ三十四番目ぐらいになりますが、なるべく早い機会に改築したい。

○ご覧の通り、地区公民館は老朽化し壁もはがれ、早い改築が望まれるが見通しは。

●十年以上前から約束している西部公民館や野田公民館もあり、ここはその次ぐらいに取り組みたい。

○丸山地区の市道は、路肩が悪く不燃物車、消防車も入れない状態です。県道を通ずる一本でも早く路肩を整備して欲しい。

●路肩だけの改修は難しく、用地の提供をしていただいて、一本でも四好の幅の道にしたい。現道で

の対応はなかなか難しいが、特殊な状態ということで、対処も考えてみたい。

○青少年の非行は、今や大きな社会問題となっているが、市内の小中学校での現状はどうなのか。

●シンナー、万引、バイクの無免許、不純異性交遊など、新聞に出ないまでも、市内で発生していることは事実です。校内暴力については今は起っていませんが、教師に対する暴言などはあります。

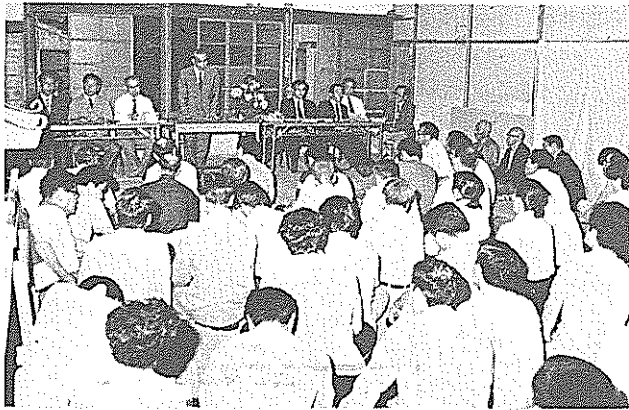
非行の特色としては、低年齢化、集団化などがあげられ、また場所の拡大もあり、人と人とのつながりが薄くなったことも影響しています。その対策には、やはり長期的視野に立って、学校、家庭、地域社会が一体となって取り組むことだと思っています。

○老人憩の家は、いつごろ建ててもらえるのか。

●決って忘れていた訳ではありませんので、なるべく早い機会に努力したい。

その他、浸水対策の問題など、予定を三十分超過して熱心な討議が行われました。

その中で、小学校改築はめどが立ったものの、保育所、老朽化した公民館などの施設の充実に、なお要望が高く感じられました。



市政こん談会としてはここ数年来、最高の出席者を集めた